

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		リバーサイドスポーツセンター維持修繕				所管	教育委員会 スポーツ振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	146	計画事業名	リバーサイドスポーツセンター維持修繕			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-3. 学びと交流の仕組みづくり [小 柱] (2)生涯スポーツ社会の実現 [施 策] ②スポーツに取り組む場の充実				[事業開始]	昭和 5 8 年度			
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区体育施設条例					[終了予定]	- 年度
	事業対象	直接の対象 : 施設利用者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	施設利用者が安全・快適に利用できるよう、台東リバーサイドスポーツセンター施設・設備を優良な状態に維持する。								
	事業内容 [29年度]	台東リバーサイドスポーツセンター施設・設備の維持修繕								
	委託の有無	一部委託	委託内容		野球場測量委託等					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		達成率	
	活動指標	計画工事実施回数	回	2	1	1	2	7	28.6%	
		緊急工事数	回	-	9	9	15	-	-	
	成果指標	修繕の推進	-	実施	実施	実施	実施	実施	-	
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)			401		892		1,257	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			3,250		9,016		21,039	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			4,803		7,409		132,924	
		総経費			8,454		17,317		155,220	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0			
一般財源 (区負担額)			8,454		17,317		155,220			
前回評価から29年度に改善した事項	体育館、陸上競技場共に建物竣工より30年以上が経過しており、計画的に改修工事を行う必要がある。そのため、建築、給排水、電気系統等の修繕に優先順位を付ける際、合理的な説明ができるよう、平成21年度の大規模改修以降の改修履歴を精査した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	建物の安全性および機能性を維持し長寿命化を図るため、適切な保全の必要性は高い。							
	効率性	3	防災設備や事故につながる不具合等、緊急性があり優先度が高い改修を実施している。							
	手段の適切性	3	指定管理者との連絡を密にし、修繕が必要となる箇所を早期に発見することで、専門業者へ迅速に修繕を委託することが可能となっている。							
	目的達成度	3	施設利用者が安全かつ快適に施設を利用することができるよう、随時、点検・改修を行っている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
総合体育館として多くの区民が利用していることから、安全かつ快適な施設を目指し、引き続き計画的な維持修繕を行うことが必要である。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		